

EC企業様のパソコン1,000台をキitting

事例内容 情報機器の設定・キitting

Windows10導入に伴うクライアント先のキitting業務

検討課題

ECサイトやクライアント先のシステム面などの構築を行っているお客様が、Windows7のエンドオブサポートに伴うクライアント先のパソコンのキitting依頼が多くなっており、リソースにも限界があることから他の業者に支援を求めたところ、他の業者も同様の状態のためにキitting業務のリソース確保に苦労していたようです。



人とキittingラインを増設してお客様を支援

解決

当社もWindows10への入替えによるキitting需要が高まっている時期でありましたが、キittingやデータ消去など複数の技術を持てるようにジョブローテーションも取っていたため、業務量が増えているキittingを行うフィールドエンジニア部門に他の技術者をアサインし、キittingとクローニングのラインを増設してお客様の支援をできるようにいたしました。

以下がキitting内容となります。

概要：クローニングと個別設定（計45分作業/1台）、一部現地作業

依頼数：パソコンキitting約1,000台

マスター：制作5台

日程：90日以内

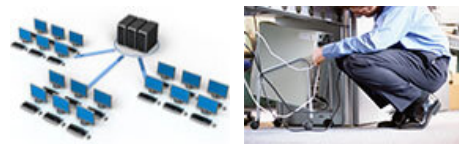
<当社テクニカルセンター内作業> 案件ごとに多少内容は変更いたします。

機器検品 マスター機作成
クローニング パソコン名設定
アプリケーションの設定 ハードディスク暗号化設定
ナンバリング 梱包発送
機器番号作成&シール貼付け)

<現地作業>

パソコンの開梱/設置 Active Directoryへの参加
プリンタードライバーの設定 ネットワークドライブのショートカット化

1000台のキitting



マスター作成とクローニング 現地設置・設定

ポイント

マスター作成

クローニング

作業リソースの増員

作業ラインの増設